

地域に根差す大学として 新たな「コモンズ」を創造する

千葉県・新松戸、茨城県・龍ヶ崎にキャンパスを持つ流経大が、新たな試みに挑戦している。目指す姿は、地域社会になくてはならない「コモンズ」としての大学だという。



流通経済大学学長
上野裕一

1999年から流通経済大学社会学部教授。スポーツ健康科学部学部長などを経て2021年4月から現職。日本初のプログラビチームを立ち上げるなど、スポーツ界でも活躍してきた。

個々の学生に徹底的に関わり
学力・人間力を強化していく

上野学長は、1990年に流通経済大学ラグビー部監督に就任。無名だったラグビー部を、関東大リーグ1部で戦う強豪に育て上げました。

上野 スポーツ指導の中で、この若者たちのあり余るエネルギーを、何かに役立てられないかと考

えるようになりまし

それが、龍ヶ崎で立ち上げた「クラブ・ドラゴンズ」。子どもから高齢者まで、世代を超えてスポーツの魅力を伝えるNPO法人です。学生自らが子どもたちに教え、地域住民とふれ合うことで、

彼らの大きな学びとなりました。この活動は、流経大の学びの基礎である「実学主義」にもつながります。知識を教えるだけの一方通行の学びではなく、「実践的な学び」。学生も自ら動く、双方の学びを重視するため、企業との共同プロジェクトなども、さかんに行っています。

上野 授業は1年生時から、10人程度

の少人数のゼミ制が基本。入学時におとなしい学生でも、4年をかけて丁寧に向き合うことで、徐々にキャッチアップできる。すると、就職時には、本人の思いにピタリとはまる仕事や役割を探し当てることができると。それが、98.3%※という就職内定率にもつながっていると思います。

聞いてみました/ 流経大の「強み」とは?

流経大での4年間は、自分自身、そして夢や目標と向き合った大切な時間。何より素晴らしい仲間と出会ったことが今の人生に繋がっている。
卒業生 プロサッカー選手 宇賀神友弥氏

長い時間をかけて受け継がれ、育まれた地域との太い連携。新しいことに学生が挑み、教職員が動く、そのスピード感。
シンポジウムを共催 NHKサービスセンター 松居 経理事

アートや学びを窓口として
地域と共に歩む「コモンズ」に

現在、「Reborn RKU Vision」の名のもとに、新松戸キャンパスを主体とした改革も行われています。

上野 龍ヶ崎では、緑あふれるキャンパスを生かし、スポーツを中心とした地域との連携を進めてきました。都市型キャンパスである新松戸

KEYWORD 1

地域の「コモンズ」となる

地域の方々と学生の交流、施設の開放、「学び直しプログラム」による知的リソースの共有などを実現。地域連携を深め、学生の実践的な学びを促していく。



「ダイバーシティ共創センター」を設立。LGBTQ+のためのガイドライン作成をはじめ、性別を問わず利用できる「ジェンダーレストイレ」など設備刷新も進める。

KEYWORD 2

本気でSDGs!

「ダイバーシティ共創センター」を設立。LGBTQ+のためのガイドライン作成をはじめ、性別を問わず利用できる「ジェンダーレストイレ」など設備刷新も進める。



では、図書館や講堂などの施設を、地域に開放する取り組みを始めています。具体的には、アートやダンスなど芸術活動の拠点として、大学を活用してもらう。障がい者の方々の作品を通して、学生・地域・障がい者がつながる「であうアート展」を開催し、好評を得ました。

流通経済大学

未来100年の社会を支える

3つのキーワード

KEYWORD 3

学生主体のプロジェクト運営

企業とコラボしつつ、多彩なプロジェクトを推進。全てに学生が関わる。アート展やバラスポーツ振興、地域の食材を利用したお弁当の開発などのプランが進行中。



流通経済大学

新松戸キャンパス
千葉県松戸市新松戸3-2-1 ☎047-340-0001
龍ヶ崎キャンパス
茨城県龍ヶ崎市120 ☎0297-64-0001